

競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2020年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。

本事業の実施により、精神障害をもつ当事者、家族、支援者、医療機関および一般の方に、精神障害に関して科学的に根拠に基づく正しい知識を情報提供することができ、理解を深めることができました。

1. 事業名 2020年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
2. 事業の内容 冊子体啓発誌及び電子媒体啓発誌ウェブマガジン「こころの元気+」の発行
冊子体啓発誌のグループ活用等促進・普及
3. 補助金額 9,437,721 円
4. 実施場所 当法人事務局（千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F）
5. 完了年月日 2021年3月26日

特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

代表理事 宇田川 健

(別紙5)

整理番号 2020P-125
補助事業名 2020年度 障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神障害に対する正しい知識の普及啓発を行い、もって社会福祉の増進に寄与する

(2) 実施内容

1) 冊子体啓発誌および電子媒体啓発誌ウェブマガジン「こころの元気+」の発行

①冊子体啓発誌「こころの元気+」

→ https://www.comhbo.net/?page_id=104 (URL)

- ・対象：精神疾患をもつ当事者とその家族、支援者、精神保健福祉関係者および一般の方
- ・内容：精神疾患に関して科学的根拠のある正しい情報、当事者や家族の体験談、薬、福祉制度や社会資源等の最新情報を掲載した。2020年度は「恋愛・結婚」「抱え込み」「ステイホーム」「いじめ」「不安」「ちょっとしたこと」「就労」「変化への対応」「気持ち伝えること」「意思決定」「入院」「がんばること」など、多岐にわたるテーマを特集した。
- ・様式：B5版64頁
- ・発行部数：毎号10,000部(10,000部/月×12回/年)

②電子媒体啓発誌ウェブマガジン「こころの元気+」

→ https://www.comhbo.net/?page_id=27864 (URL)

- ・2021年 2月15日 「こころの元気+」2月号
- ・2021年 3月15日 「こころの元気+」3月号

2) 冊子体啓発誌のグループ活用等促進、普及

①こころの元気+活用セミナー「みんなで元気+」 オンライン開催

- ・1回目 2021年2月20日開催 参加者28名
- ・2回目 2021年3月13日開催 参加者29名

【対象】『こころの元気+』をグループ活用している方、グループ活用してみたい方。

【内容】「こころの元気+」を病院や地域で実際にグループ活用している方から活用術を伺い、参加者同士のディスカッションを通じて、グループ活用に関する様々なアイデアを一緒に考えた。

【参加形態】Zoom ミーティング (参加者同士の顔が見える形)

②こころの元気+広報セミナー「こころの元気+まつり」 オンライン開催

- ・1回目 2021年2月20日開催 参加者68名
- ・2回目 2021年3月13日開催 参加者88名

(別紙5)

【対象】 『こころの元気+』を読んだことがある方、今後読みたい方等

【内容】 啓発冊子に掲載されているテーマを元に、執筆している講師から、情報の正しい読み方や活かし方を学ぶ機会となる広報的なセミナーを開催した。

【参加形態】 Zoom ウェビナー（参加者の顔は映らない）

③活用方法ガイドブックの作成

【対象】 精神疾患をもつ当事者とその家族、支援者、精神保健福祉関係者など

【内容】 こころの元気+活用セミナー及び広報セミナーでの成果をまとめたガイドブック
啓発冊子のグループでの活用方法や個人で実際に使っている方法を紹介している。

【様式】 B5版8頁

【作成部数】 10,000部

④評価調査(ニーズ・モニタリング評価調査)の実施

紙媒体の啓発冊子を、精神障がいのある情報の弱者およびその家族等、医療機関や地域事業所などの支援機関に頒布するとともに、啓発冊子へのニーズと活用方法・活用可能性に関するアンケート調査を行った。同時に冊子を活用している支援機関を対象にしたモニタリング調査を実施して、リカバリー志向サービス等の進捗状況を把握した。

2 予想される事業実施効果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、これまでサポート体制の不備や偏見、周囲の無理解等によって孤立しがちだった精神疾患を持つ当事者は、ますます医療や福祉につながりづらくなっている。精神科医療は現在でも長期入院や薬剤の多剤大量処方など、科学的根拠のない治療が主流であり、患者や家族に対して知識や情報提供が少ない。当事者や家族はインターネットの利用率が低く、加齢や障害の程度などにより、新しい情報技術を容易に使いこなせず、さらに困難な状況に追い込まれる方がいる。

この啓発事業の考え方の柱は「リカバリー」である。リカバリーの基本は希望をもつことや自己決定などであり、ある当事者の体験が、他の当事者に大きな影響を与えることができる。世界的に、精神疾患をもつ人たちの進むべき方向、支援者の関わり方はリカバリー志向であることが求められているが、これまでの支援者が当事者を管理する志向とは真逆の考え方であり、この事業を継続し、啓発冊子を読み続けることで、これまでの文化や思考を変え、社会を変えていくことができると思われる。今年度より電子媒体啓発誌による情報提供も始めたが、多様な手段に対応し、それぞれの視認性を高めたことで、広く情報提供できるようになった。

また、啓発冊子のグループ活用セミナーや広報セミナーを開催し、啓発冊子に対するニーズと活用方法・活用可能性を確認し、グループ活用ガイドブックを作成した。また、啓発冊子を医療機関や地域事業所など支援機関を対象に、啓発冊子に対するニーズと活用方法・活用可能性に関するアンケート調査を行い、様々な活用事例を収集するなどしてそのあり方を検討しているが、この啓発事業を通じて今後、リカバリー志向活動・サービスを推進していくためのネットワークを構築していくを目指す。

新たな取り組みを進めていくことで、今後さらに正しい知識の普及啓発と精神障害者への認識不足や誤解を払拭することができ、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみづくりという社会的課題の達成に近づくことが見込まれる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

1) 精神障害啓発冊子「こころの元気+」

毎月10,000部発行 (10,000部/月×12回/年)

→ https://www.comhbo.net/?page_id=104 (URL)

- 2020年 5月号 特集「いろんな立場の恋愛・結婚」
6月号 特集「手を抜くことが苦手です」
7月号 特集「私のイエナカ生活」
8月号 特集「いじめが今でもつらいです」
9月号 特集「みんなが不安」
10月号 特集「最近あったちょっといい話」
11月号 特集「働くことってどうなってるの？」
12月号 特集「何だか心が折れそうです」
- 2021年 1月号 特集「私の言いたい放題」
2月号 特集「自分の気持ちを大事にしたい」
3月号 特集「入院ってどうなってるの？」
4月号 特集「私はがんばってる？」



啓発誌「こころの元気+」5月号

啓発誌「こころの元気+」6月号

啓発誌「こころの元気+」7月号

(別紙5)



啓発誌「ココロの元気+」8月号



啓発誌「ココロの元気+」9月号



啓発誌「ココロの元気+」10月号



啓発誌「ココロの元気+」11月号



啓発誌「ココロの元気+」12月号



啓発誌「ココロの元気+」1月号



啓発誌「ココロの元気+」2月号



啓発誌「ココロの元気+」3月号



啓発誌「ココロの元気+」4月号

(別紙5)

2) 電子媒体啓発冊子「こころの元気+」電子版

→ https://www.comhbo.net/?page_id=27864 (URL)

3) こころの元気+活用パンフレット

→ https://www.comhbo.net/?post_type=infomations&p=6743 (URL)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

- ・精神科医療機関におけるリカバリー志向活動の現状と課題、展望に関するアンケート調査票
- ・障害者地域事業所におけるリカバリー志向活動の現状と課題、展望に関するアンケート調査票
- ・こころの元気+活用セミナーチラシ

→ https://www.comhbo.net/?post_type=infomations&p=6743/ (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

(トクヒ)チイキセイシンホケンフクシキコウ)

住 所 : 〒272-0031 千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F

代 表 者 : 代表理事 宇田川 健 (ウダガワ ケン)

担 当 部 署 : 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名 : 寺本 育男 (テラモト イクオ)

電 話 番 号 : 047-320-3870

F A X : 047-320-3871

E - m a i l : pr@comhbo.net

U R L : <https://www.comhbo.net>